

課題解決アイデアシート

4	提案者 若崎・清水・福田・中山
---	--------------------

●自治会が充実すれば
8割の課題が解決する!!

●若い人が自治会が大切だと認識してくれるのが嬉しい!!

●自治会の存在をアピール
することが大切

●苦情・要望は自治会を通じて

タイアップする
方法を模索

テーマ	地域の意識向上（コミュニティ向上）	
アイデアカード	目的 (解決できる課題)	地域の問題解決により地域が元気になる
	アイデア名称 (事業名)	熟年パワー活用
	内 容	地域コミュニティのリーダー育成（発掘） ・生活の中の困りごとお助け隊 ・子育て支援隊 ・老人による技術の伝承隊
課題の原因	地域コミュニティの崩壊・人間関係希薄化	
主体の役割	住民（中心）	テーマの共有・討議・実施
	行政	場所の提供と支援をする
	自治会	問題を集約し、実施について検討する。指示する。
評 価	<実現可能性> 青色 ●●●●●●●●	<実行の必要性> 赤色 ●●●●●●●●

(団塊の世代の地域デビュー)

力・経験・お金・時間
を持っている

パチンコ屋へなんて
もったいない!!
気が小さい
出しっぱなしなら

アイデアを
引き出す押し出す

福祉の視点で
まちづくりを進める

<発表 4 班>（第 4 回会議録より抜粋）



我々は最初に市長さんの講話を一緒に聞いた。いろんな課題があるが、これは自治会が充実してれば8割は解決できると思った。発表で自治会が大事という意見が若い人から出たのを嬉しく思っている。私も自治会の役員をかなり長くやっているのもその点から話をしたい。私たちが話したのは熟年パワーの活用。力が余っていて、お金もあって、経験もやる気もある、こういう人がまちにごろごろしている。

ほとんどがパチンコ屋に行っている。これほどもったいないことはない。

その人たちをいかにまとめて、活躍の場をみんなで探していくか、声をかけていくか。それをなんとかみんなの力で引き出すことがまちの活性化に有効だと思う。その熟年パワーをどう生かすか、どう使っていくか、どうまとめていくかとの辺が問題。

自治会と行政の関係は、行政が自治会に対して、つかず離れずのあいまいな態度を取ってきたから、自治会が無力化してきたと私は思っている。もう少し自治会の存在を市民にアピールするとともに、後方支援する必要がある。今までは都合のいい時だけ自治会というのが結構あったと思う。苦情を十数万人が役所に言ってきたら大変なので、自治会長を通して、組織を通して行うようにルールを設けるべき。自治会の力を借りて環境を良くして欲しいということになる。それが行政の責任だと思う。自治会と行政のタイアップ、すぐにはできないだろうが、自治会がやる気のでるシステムを自治会も考えるが、行政も考えて欲しいと思う。

福祉を基にした会合はどこでやっても上手くいくと思う。買い物の手伝いをするとか、声をかけるとか、福祉を基にして選択肢を広げていく。

熟年パワー活用ということで、実際に家に行って勧誘している。協働のもと自治会にある。地方自治が盛んに言われるが、自治会は地方自治の先端だと思う。手や足の指、これが自治会だと思う。つながっていないと、手や足の指だけが動いてもしょうがない。

発表に私の意見が多く入ってしまったが、以上で発表を終わる。

課題を解決するための各主体の役割はコチラ

